

スコアオリエンテーリング大会開催！ 多治見市喜多緑地にて

2017年10月9日、多治見市喜多緑地において、第1回ぎふ清流レクリエーションフェスティバル スコアオリエンテーリング大会及び、チャレンジコースとしてのポイントオリエンテーリングを開催しました。大会スタッフされた皆さんお疲れ様でした。中田茂雄さんと橋本さんのレポートをお届けします。(全体 牧ヶ野)

(中田茂雄レポート)

当日は、体育の日でもあり、天候は晴れ。気温27度と絶好のオリエンテーリング日和の中、前半は、「スコアオリエンテーリング」で制限時間45分。参加者は68名。後半は、チャレンジコースとして大会参加者の中から希望者を対象に「ポイントオリエンテーリング」を実施し、50名の参加者を得て競技中の事故もなく、参加者の皆さんにはオリエンテーリングを楽しんで頂きました。

運営スタッフは当協会会員11名に加えて、岡崎・三河OLの杉森さんや多治見市在住の元愛知OLの吉田さんにも協力を頂きました。又、今回も競技終了後に東海中・高の学生さん達に撤収等を手伝って頂きました。協力有難うございました。



ここからは運営面での反省となりますが、今回の競技・運営形態は過去の県民大会等で繰り返し経験を重ねてきたはずでしたが、多くの問題点が発生した様です。

◇運営マニュアルの完成が遅かったので、事前にメールを確認できなかった者もいた。

◇集合時点での打ち合わせ（各セッションでのミーティング、確認）等が無かった。

◇これにより、指示系統が運営スタッフに周知されず、誰が何をするのが分からず、

又、事前に準備されているはずの備品の確認もできなかったため、その都度処理をする形になってしまった。

これらは運営慣れによるマンネリ化の弊害かもしれません。計時、パンチングシステム

としてSIシステムを導入したことで運営形態が変わり、今まで課題となっていたフィニッシュの混乱は解消されました。システム上の入力・操作等はこれから経験を重ね慣れて貰えば良いと考えます。

今後は、運営スタッフ全員がその都度初心に戻り競技会の流れを理解した上で運営を進められる様にしたいと思います。



(橋本レポート)

多治見市のご支援を得て無事大会を終えることができました。参加者を見ると皆さんとても楽しんでいただけたような気がします。大会中、市役所の皆様には会場設営や片付けなどにご尽力をいただきました。喜多緑地の管理の方にも早く会場を開けていただくなど便宜を図っていただきましたし、池田小学校にも駐車場を使わせていただきました。本当にみなさまのご支援で大会が開催できたと感謝をいたしております。



東海中学・高校のクラブ顧問である大野先生は、今後もここで大会や練習会を開催してもらいたいと言って見えました。

喜多緑地では、国体デモスポ以来のオリエンテーリング開催で、今回参加してくださった方は喜多緑地は初めての方が多かったようです。中には、あまり期待していなかったけれど結構楽しめた。また、走りたい。と言ってくださる方も見えました。私たちも、やや狭くて、藪が多いという印象があったので喜んでもらえるか心配していましたが、予想以上の反響だったと思います。

今後の反省や改善として、レクリエーションフェスティバルという名前にふさわしく、初めての方、地域の方に何よりも楽しんでいただきたかったのですが、参加が多くなく残念でした。もっと地元浸透するためには、工夫と継続的な努力が必要だと痛感しました。例えば、多治見市やレクリエーション関係、ボーイスカウト関係、社会教育関係、学校関係、地元町内会等と連携して市民大会のような形で継続して開催していけるといいかと考えています。最終的には、地域にオリエンテーリングの愛好者を増やしその方達の力で開催できるようにしていくのが理想であり自分たちの使命だと思っています。また、今回の地図を活用して、簡易パーマネントコースなどを設置して市民の方々にいつでも楽しんでいただいたり池田小の児童のみなさんにも授業や野外活動で利用していただいたりできると一過性のイベントに終わらず持続的なものにできるんじゃないかと思っています。

